



只今後援会会員
328名
(目標1000名)

「共同保育園あゆみ」の理念の再確認を — NPO法人化にあたって —

代表理事 佐々木 健

去る10月7日、特定非営利活動法人あゆみ会の認証の通知が県から届き、さっそく法務局への登記の手続きをすませました。32年前無認可共同保育園として出発したわたしたちのあゆみは、今、NPO法人として、新しい一歩を踏み出したところです。

出発のときにもさまざまな危機に際しても、常に皆の知恵と力を寄せ合ってきたあゆみですが、NPO法人化にあたっては、実にたくさんの方の力を寄せていただきました。先生方をはじめ、子育て真っ最中の忙しい現役の保護者やすでに子どもは卒業したOB・OGらが、何度も集まり、話し合い、学習を重ね、相談に向向き、ここまでこぎつけました。他の施設や組織の方からの助言も受けました。

共同保育園として運営委員会や理事会はこれまでもありましたが、ここに、法的に認められた責任主体としての理事会組織が確立しました。これまで別組織として運営されてきた保育園と学童クラブは、「特定非営利活動法人あゆみ会」によって運営されることになり、今まで以上に協力しあうことになり、また社会の激しい



代表理事 佐々木 健さん
変動の中で、ますます多様なニーズが生まれ続けていますが、これまで取組まれていない領域

への対応も考えていかななくてはなりません。しかし、ここで再確認しておかなければなりません。もともとあゆみは非営利・共同の集まりでした。「子どもたちの保育園での生活が生き生きと楽しいものであり」、「親が安心して働ける保育園」がほしいという願いのもとに生まれました。以来、多くの人に支えられて歴史を刻んできました。また、あゆみによって支えられた大人たちも少なくありません。かく言う私も、子育てで支えられたことはもちろんですが、あゆみに集まる人々たちから人間への深い信頼を育てられ、人間としての根っここの部分で支えられたと思っています。32年間で培われたつながりは、大きな財産です。呉の地にこのような組織が育ったことを、わたしはうれしくも誇りにも思っています。特定非営利活動法人になる前もなつた後も、わたしたちの保育園はこのような集まりなのだ、もう一度確認しておきましょう。



NPO法人『あゆみ会』設立記念 「どうれっしやがやってきた」コンサートと講演会開催



11月13日、呉で初めての「どうれっしやがやってきた」コンサートが行われました。作曲者の藤村記一郎先生指揮のもと、保育園児（1才〜6才まで）・学童（1〜6年生まで）・保護者・保育士・有志たち約100名が全11曲中、8曲を大合唱しました。また、その後は藤村先生の講演もあり、「どうれっしや」は決して過去のものではなく、子供たちが、本物の象が見たい、という願いを実現させたい夢のあるお話で、今日本だけでなく世界に広がっていることを聞きました。コンサートに向けて5月から練習をはじめましたが、はじめは、「参加費をとって聴いてもらうようなコンサートが本当にできるのか」と不安でいっぱいでした。しかし、回を重ねるごとに子どもはもちろん大人たちも、どうれっしやを歌う魅力に引き込まれていき、なんとかやれるのではないかと自信が持てるようになり、当日は緊張もあつた。当日は緊張もあつたという間に終わってしまった30分間でしたが、わが子と一緒に同じ舞台上で歌うという初めての体験に、保護者がとても感動したと



講演される藤村記一郎先生

「参加費をとって聴いてもらうようなコンサートが本当にできるのか」と不安でいっぱいでした。しかし、回を重ねるごとに子どもはもちろん大人たちも、どうれっしやを歌う魅力に引き込まれていき、なんとかやれるのではないかと自信が持てるようになり、当日は緊張もあつた。当日は緊張もあつたという間に終わってしまった30分間でしたが、わが子と一緒に同じ舞台上で歌うという初めての体験に、保護者がとても感動したと

保護者の感想より

前日までとはとても不安で、当日も不安なままで迎えました。藤村先生の笑顔と指揮（もはやマジックとよんでいい！）で、気がつくやうに完全に「藤村ワールド」に引き込まれていました。舞台の上で一生懸命に歌う子どもたち、熱い思いを伝えるべく必死で歌っている大人たち。これですごいことだなあ！年齢・性別・バックグラウンドを越えて心一つにして歌っている姿が人々に感動を与えたのだらうなあ！と近年まれに見る感動を味わいました。そんな感動的なステージから一週間。息子は以前に増して（なぜか大人のパートばかり）歌っている。水曜日には「今日は歌の練習があるんだよ」と言っていた。コンサートの歌声が彼の心に刻みこまれたことに、そして歌が生活の一部になったことに、あらためて驚かされました。「こんな小さな子にわかるだろうか」と思っていたけれど、「こんな小さな子だからこそわかること」があるのだと気づかされました。

ほいくえん日

ほめてあげよう! (11月)

向田 小展



黒瀧山登山
(くじらぐみ)
11月9日
がんばって登ったよ!



たのしい芋掘り(全園児)
11月4日、16日の2回

芋煮会-二河川川原-
11月26日
(らいおん・きりん・ぞう・くじら)



狩留家で草すべり
(らいおん・きりん・ぞう・くじら)
11月19日



がんばった
休み山登山
(きりん・ぞう・くじら・学童)
11月29日

あゆみ連絡帳
11月の保育テーマは、「秋の自然に触れて、戶外活動をたっぷり」と

2010. あゆみ もちつき会



2009. あゆみ もちつき会



●今年もやります、あゆみ もちつき会!

日時 12月26日(日)
場所 9:00~12:00位 蔵本公園
参加費 (あゆみ前の公園)
おとな400円
子ども300円

★『フルーツ演奏&パザー』も開催します!おもしろい「おもち」と「おんがく」「おしゃべり」をみんなで楽しみませんか?

「ぞうれっしやコンサート」みな様お疲れ様でした。見に来てくださった方々から「良かったよ!」「感動で涙が出たよ!」「大成功だったね!」など、コンサートが終わった後、言葉を頂いたりメールを頂いたり嬉しく暖かい気持ちになりました。それと同時に「あー成功したんだよね!やりとげたんだー!」という思いが込み上げてきて安心したのと終わったのか?と少し寂しい気持ちで今はなかなか複雑で不思議な感覚です。

5月から実行委員会を立ち上げ実行委員長となつた私は、どうなるかという不安な思いと今まで「ゆずりんコンサート」でも実行委員をしたり、広島で「つながりレクの会」などでも大人達、子ども達で歌う楽しさや、感動を経験していたこともあり、練習を重ねていきその中で少しずつ大人達の気持ち一つ一つになってくれば必ず本番で力が発揮できる!それができる!「あゆみ」の保護者なら!と思っていました。みごとに本番ではみんなの心が一つとなり、人を感動させられる歌声を舞台から客席の方々に届けることができたのではないだろうか。「ぞうれっしやよはしれ」の歌詞にある「小さなぼくたちでも心一つにすれば夢だつてかなうと信じよう今こそ!」子ども達もそうですが大人達だってそうなんですよね。心一つにする事、中々今の世の中そうできる経験ではありませんよね。

皆さんそれぞれの家庭で練習から本番当日までの間、色々な嬉しいドラマがあったのではないのでしょうか?それは子どもが成長していく中できつと親子の絆になると私は信じています。

今回ここまでがんばり成功できたのは、保育園の先生方、保護者のみな様をはじめいつも支えてくださる後援会やOBの方々あゆみを応援してくださるたくさんの方々のおかげだと思います。「あゆみ」の財産は、そういう人と人とのつながり、絆です。

「NPO法人あゆみ会」として新たな一歩を踏み出す「あゆみ」は、また新しいつながりと絆をおやしていきながら、共に「あゆみ」ありと思わせられる何かをみな様と一緒に作っていきたくと思っています。

これからもあゆみ保育園、学童クラブ、「NPO法人あゆみ会」をよろしくお願ひいたします。

あゆみOBリレーエッセイ Vol.24
あゆみ学童クラブ保護者 谷本蒼志美